

新ブランド「Skism(スキスム)」を展開



Skism Tによるインテリアスタイル

永大産業は新ブランド「Skism(スキスム)」を10月22日から展開。

「Skism」は、製品ごとのブランドとは異なり、お客様が描く“憧れの暮らし”の実現を、当社の製品でトータルにお手伝いさせていただくためのブランドです。流通業者様、ビルダー様とお施主様、そして当社が「Skism」でつながることができる、そのようなブランドに育てていきたいと考えております。

「Skism S」と「Skism T」の2つのシリーズをラインアップしており、「Skism S」は、ベーシックからモダンまで幅広く、時代を超えた普遍的なインテリア

スタイルをベースとし、同色、濃淡によるコーディネートで室内空間を演出できます。これに対し「Skism T」は、トレンドを採り入れたこだわりのインテリアスタイルがベースで、質感を重視し、厳選されたバリエーションによる上質な空間コーディネートが可能です。ボリュームゾーンから中高級のゾーンまで幅広く製品を選択していただけるよう、どちらのシリーズも品揃えの充実を図りました。

情報提供: 永大産業

ビルダー5社、ベトナムで「ジャパン・プレミアム・ホーム」設立に合意

ネクストワンインターナショナル(東京都港区)、考建(愛知県名古屋市)、エースホーム(佐賀県神埼市)、諫早建設(東京都小平市)、ライフステージ(広島県福山市)のビルダー5社は8月7日、共同出資による不動産デベロップング会社「ジャパン・プレミアム・ホーム」(本社:ベトナム・ハノイ)の設立に合意したと発表した。

新会社では、各社代表取締役が自社の強みに応じて「仕入開発」「マーケティング・セールス」「品質管理」「財務」「人事」の担当役員に就任し、5社の強みを結集させながら共同事業を行う。「日本で培われた家造りのノウハウを生かし、コストを抑えつつも高品質で、ベトナム国の風土・文化に合った家造りを実現し、ベトナムの住環境の改善に寄与すること」をミッションに活動する。



左から、ライフステージの妹尾泰州社長、諫早建設の辻潤也社長、ネクストワンインターナショナルの遠藤一平社長、エースホームの島正憲社長、考建の清水丈裕社長

情報提供: 新建ハウジング

ノーリツ、システムキッチン開発・生産をトクラスに委託



ノーリツは、トクラスとの業務提携に伴うシステムキッチン事業の一部業務委託と、連結子会社である関東産業の解散を8月9日開催の取締役会で決議した。

これまで関東産業が手がけてきたシステムキッチン開発・生産をトクラスに委託し、同子会社を解散する。これにより、同製品の事業構造を変革し、住設システム分野の収益改善を図る。

来年4月から関東産業のシステムキッチン開発・生産を順次、トクラスに委託する。関東産業は同年6月に解

散し、同年12月に清算終了する予定。

情報提供: 新建ハウジング